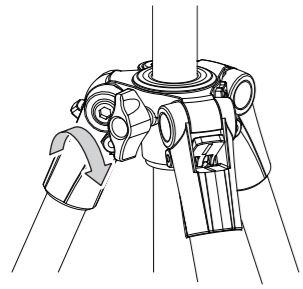
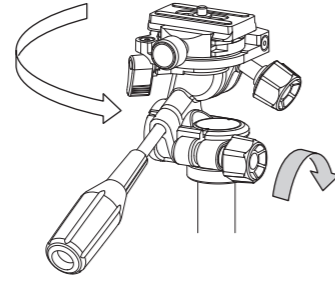


## 雲台の取り外し

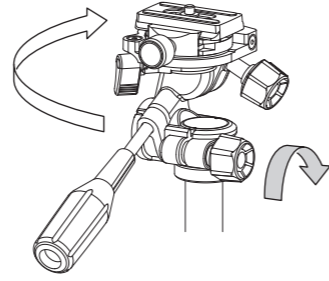


他の雲台やアクセサリーをこの脚に取り付けるときは次の方法で交換してください。初めに三脚のエレベーターストッパーを締め込みます。



次に、雲台のパンロックノブをしっかりと締め込みます。パンハンドルと水平ティルトノブを握って力強く雲台を反時計まわりにまわすと雲台がゆるみます。

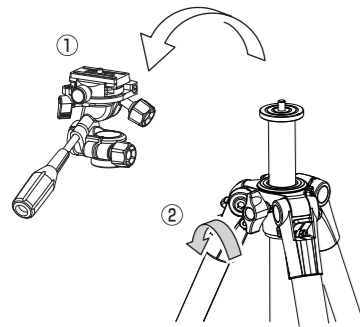
## 雲台の取り付け



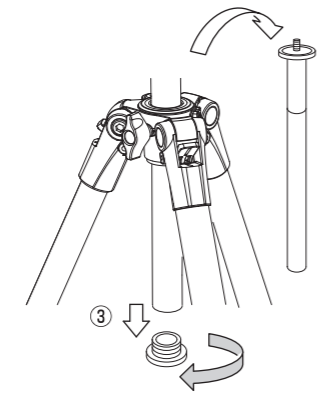
雲台と三脚のネジを合わせます。雲台を時計まわりにまわして、パンロックノブをきつく締め込んでから、さらに雲台を時計回りにねじ込みます。

## エレベーターの上下差しかえ

### ⚠️ 注意

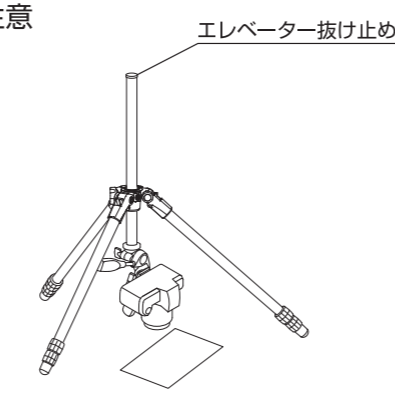


- ① 初めに雲台を外してください。
- ② エレベーターストッパーをゆるめます。



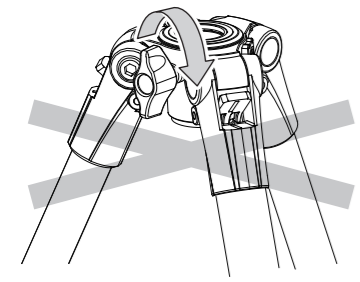
- ③ エレベーター抜け止めを外し、エレベーターを抜きとります。

### ⚠️ 注意



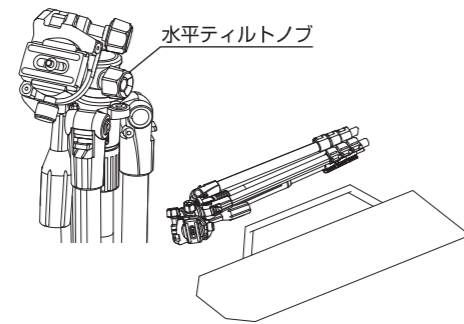
入れかえが終わったらエレベーターストッパーを締め付け、落下防止のために必ずエレベーター抜け止めを取り付けてください。

### 🚫 禁止

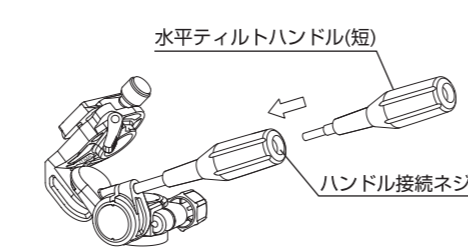


エレベーターを抜きとったままエレベーターストッパーを操作しないでください。内部の部品が破損する恐れがあります。

## 収納



水平ティルトノブを使用している場合は、ノブを外さずに三脚ケースへ収納できます。



水平ティルトハンドルを使用している場合は、外してパンハンドル後部のハンドル接続ネジにねじ込んでください。

### 🚫 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご相談ください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

## お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <https://www.slik.co.jp/>

\*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。  
©2025 SLIK CORPORATION

# SLIK®

## ライトカーボン E73 II AC E74 II AC

### 取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

**⚠️ 注意** このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

**🚫 禁止** このマークは禁止(してはいけないこと)内容です。説明にしたがい事故のないようお使いください。

### 仕様

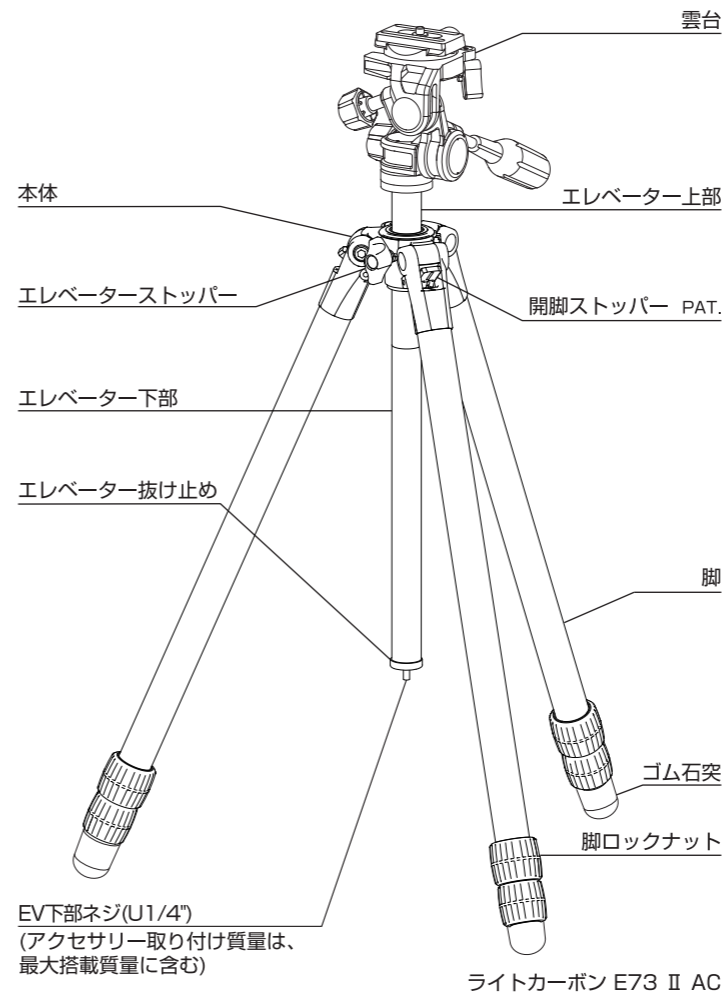
ライトカーボン E73 II AC  
縮長 660 mm  
全高 1,790 mm  
EVスライド 355 mm  
質量 1,850 g

ライトカーボン E74 II AC  
縮長 555 mm  
全高 1,760 mm  
EVスライド 330 mm  
質量 1,885 g

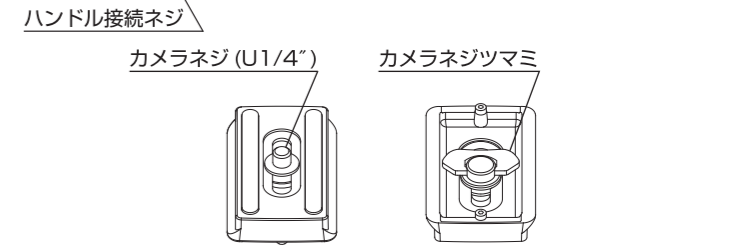
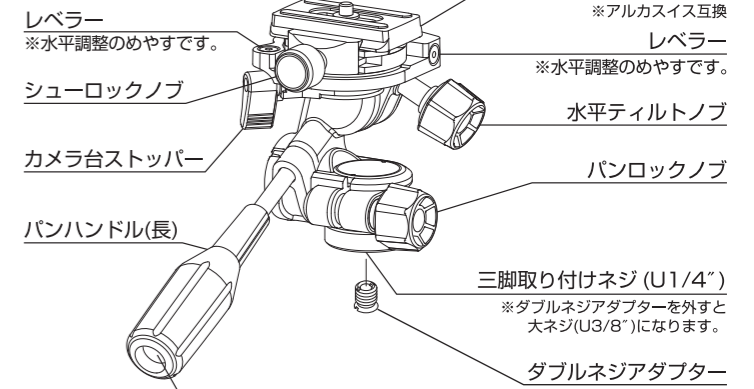
Y443

三脚ケース付

## 各部名称

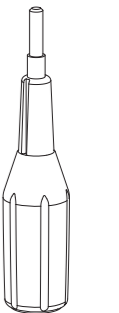


## 雲台



※三脚用のレバーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレバーとは精度が異なります。  
※雲台・クイックシューはアルカスイス互換品ですが、他社アルカスイス互換製品の取り付けを保証するものではありませんので、ご注意ください。

## 付属品

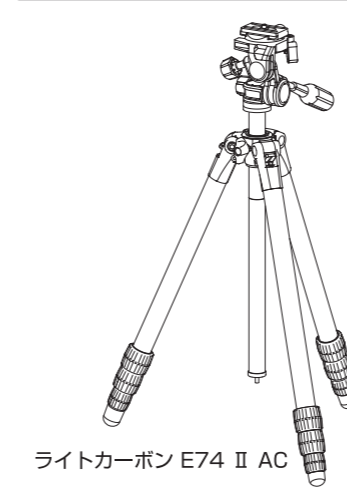


水平ティルトハンドル(短)

## 搭載する機材

### 🚫 禁止

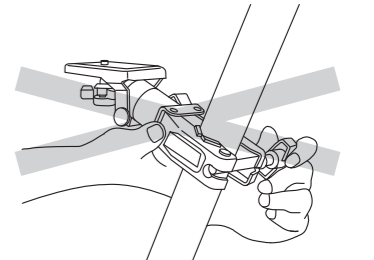
最大搭載質量：4kg



これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

## クランプヘッド

### 🚫 禁止



パイプが破損する恐れがありますので、別売のクランプヘッドはカーボン三脚には使用しないでください。

## 衝撃のあった時

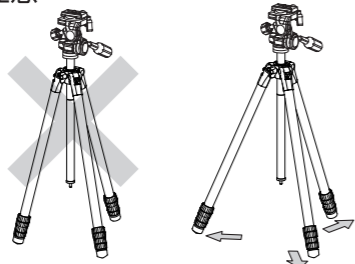
⚠ 注意

三脚が転倒するなど衝撃が加わった場合は、パイプにひび割れが入っていないか確認してください。

キズ、割れ等が見つかった場合は、ただちに使用を中止し修理を依頼してください。カーボン繊維が出ている場合は、ケガをする恐れがあります。直接ふれないようご注意ください。

## 機材のセットアップ

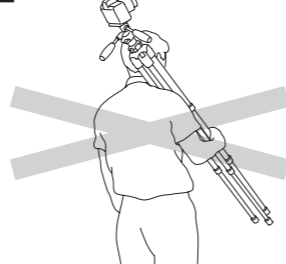
⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

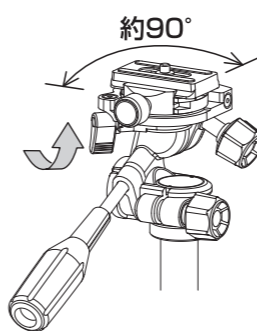
## 持ち運びのとき

⊘ 禁止

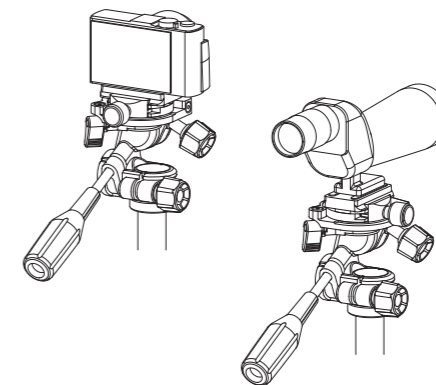


カメラは三脚や一脚から外して持ち運んでください。カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。パンハンドルだけを持って、三脚を持ち上げないでください。

## カメラ台の回転



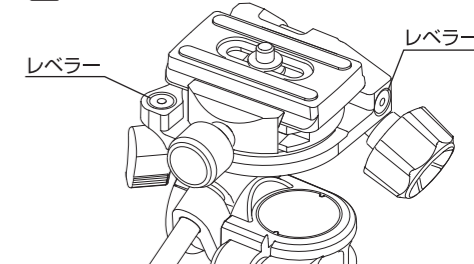
カメラ台ストッパーをゆるめると、カメラ台を約90°回転させることができます。位置が決まったら、カメラ台ストッパーを締めてください。



スチルカメラを使用する場合は横向き、望遠レンズやスコープなど、前後のバランスを調節する場合は、縦向きにして使用すると便利です。

## レベラー

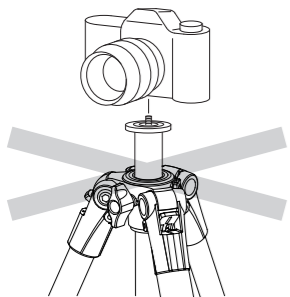
⚠ 注意



雲台の上部にあるレベラーを使用すると、写真撮影時の水平出しのめやすとすることができます。三脚用レベラーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

## 雲台取り付けネジ

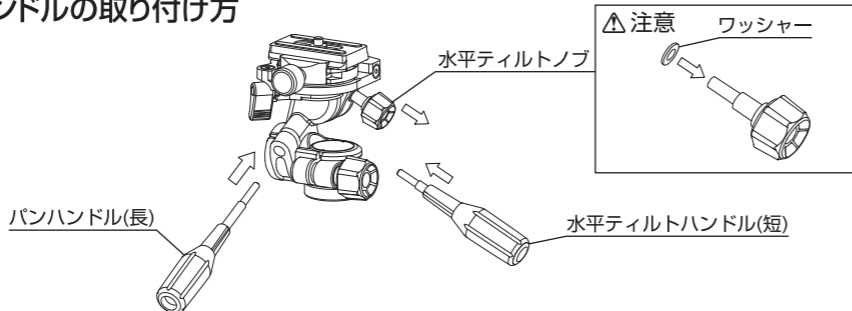
⊘ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けると、故障の原因になります。必ず雲台などを介して取り付けてください。

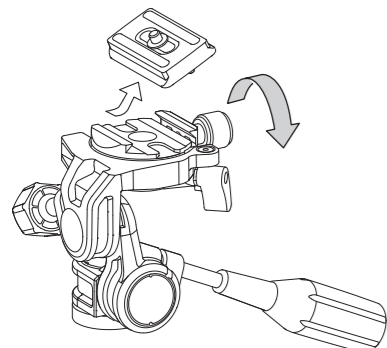
## パンハンドルの取り付け方

⚠ 注意

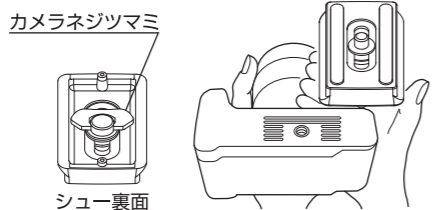


左側にパンハンドル(長)を取り付けます。右側には購入時に、水平ティルトノブが取り付けられております。水平ティルトハンドル(短)を取り付けるときは、水平ティルトノブを外してから取り付けてください。携帯性を重視する場合：水平ティルトノブ操作性を重視する場合：水平ティルトハンドル(短)など、用途に合わせてお使いください。取り外したノブ・ハンドル・ワッシャーは、無くさないように保管してください。水平ティルトノブを取り付けるときは、ワッシャーを付けてから取り付けしてください。

## カメラの取り付け方

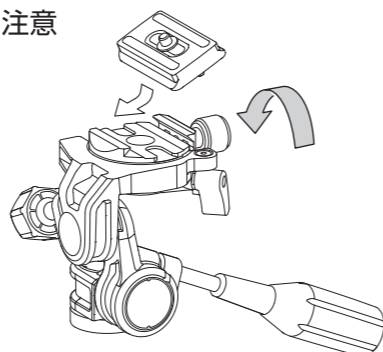


クイックシューが上方向に外れるまでシューロックノブをゆるめます。



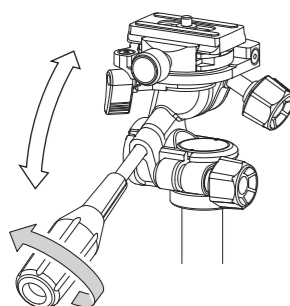
カメラの三脚取り付けネジとクイックシューのカメラネジを合わせて軽くねじ込みます。使用する機材に合わせてクイックシューの位置を決めて、カメラネジツマミをしっかりと締めます。

⚠ 注意

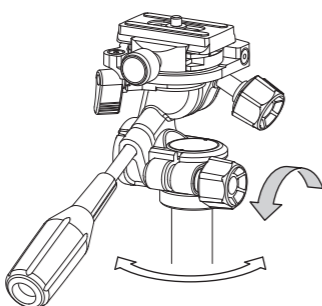


クイックシューを取り付けてから、シューロックノブを締めてください。機材の落下等につながる恐れがありますので、クイックシューが固定されていることを確認してから使用してください。

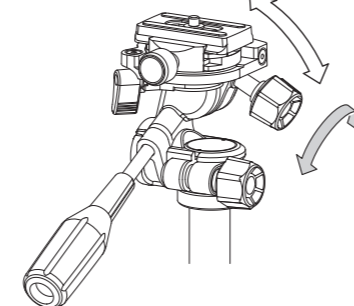
## 雲台の使い方



雲台の角度調整を行うときは、必ずハンドルやストッパーをゆるめてから操作してください。パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き下向きにティルトできます。



パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向にパンできます。



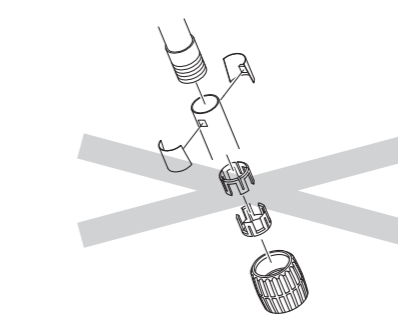
水平ティルトノブ(ハンドル)をゆるめると、カメラの傾きを調整することができます。

## 脚の伸縮

⊘ 禁止



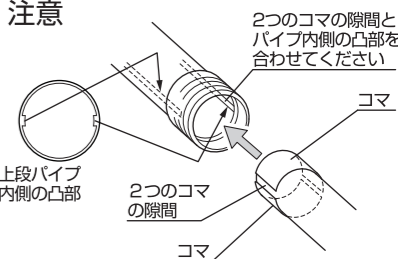
脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきまったら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください



本製品は分解等しないように注意してください。誤って脚ロックナットを外した場合は、次の図を参考に正しく組み立ててください。

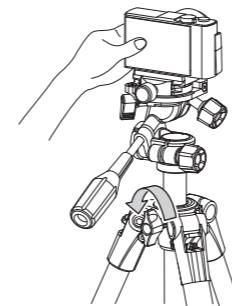
〔万が一分解したときは図を参考に位置を合わせて組み立ててください。〕

⚠ 注意

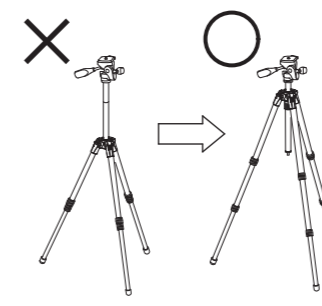


パイプを差し込むときは、2つのコマの隙間とパイプの内側の凸を合わせてください。確実な組み立てが難しい場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご相談ください。(無料修理保証の対象外です。)

## エレベーターの使い方



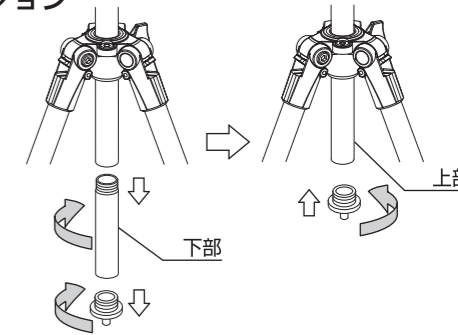
雲台かカメラに手をそえて、エレベーターストッパーをゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとストッパーをロックしてください。



ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

## ローポジション

⚠ 注意



ローポジションにするときは、エレベーター下部を取り外してください。エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印の方向にねじって取り外します。取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。